

キャラクター名
綿貫 史緒里 (わたぬき しおり)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン サラマンダー		ワークス	レネゲイトビーイングC	カヴァー	次期村長候補
	オプション		年齢	19	性別	女
覚醒	忘却	衝動	憎悪	初期侵食率	40	%
出自	兄弟	経験	慕情	邂逅	忘却	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	0	0			2	行動値	7
感覚	0	0	0	1		1	(非装備時)	7
精神	4	1	0			5	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達	6	
運転:			芸術:			知識:			情報: (UGI) (秘話)	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
フルオートショットガン	射撃	5r+3		5		<同エンゲージ> : ドッジ-1D、攻撃力+5

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
応急手当キット	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
D: 達人	P	N		
兄弟	P 慕情	N 悔悟		
忘却	P 懐旧	N 憎悪		
閉ざされた世界 「村」	P 尽力	N 嫌気		
稀人 越雲トバリ	P 同情	N 不安		
村民 天原ルイナ	P 友情	N 悔悟		
オダイリサマ	P 執着	N 憎悪		

最大財産P: 16 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
CS: ノイマン	2	2	Xジャー					
効果: <シフト>: C値-LV(最低7)								
零距离射撃	1	2	Xジャー	至近		対決		
効果: <射撃>: 達成+LVD、[射程: 至近]化								
炎の刃	3	2	Xジャー	武器		対決		
効果: <射撃>: 攻撃力+[LV×2]								
コントロールソート	1	4	Xジャー	武器		対決		
効果: <射撃>: 組み合わせた判定を【精神】に								
クロスバースト	3	4	Xジャー			対決	80%	
効果: <シフト>: 攻撃力+[LV×4]、判定-2D								
生き字引	1	1	Xジャー	至近	自身			
効果: <意志>: すべての<情報>: >代替、判定D+LV個								
ヒューマンズネイバー	1		常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定D+LV個								
オリジン: ヒューマン	1	2	マイナ	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン間、I/F使用の判定+LV								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

この閉ざされた世界では異端となる、外の世界に出ることを望んだ元少女。高卒認定試験を受け、そのまま奨学金を借りながら卒業するという飛び級に近いことを行っている秀才。もっとも一年目の前期までは割りと赤点ギリギリラインだったらしいが、里帰りから帰ってから飛躍的に成績を伸ばしたようだ。

どちらかといえば温和な性格、喧嘩が起きているとなあなあに仲裁しようとしてどっちにも責められて胃が痛い。さらに言えば保守派、あまり早急な変化は好まない模様。無茶振りされるとあわあわしてブルブルする。

15歳の夏、里帰りした史緒里を待っていたのは、稀人でない幼なじみが賛として選ばれたという事実。禁を犯して山に入った彼女の前に飛び込んできたのは、ほんのりと恋心を抱いた男の死に行く姿で...

気づいた時には自分が下宿している先で倒れていた。この涙はなんなのだろう...僅かながらに覚えているのは、このままでは村はダメだということ。そして狂おしいまでの憎悪。この日からまるで"人が変わってしまった"と数少ない知人は口をそろえるだろう。

Revers
綿貫史緒里はオダイリサマによって食いつくされ、そして記憶を植え付けられたレネゲイトビーイングである。日常を問題なく送ることはできるが、記憶の大半は失われており、特に村で築いていた人間関係がかなりひどいことになってしまっていた。